

令和4年度 北海道・東北ブロックプラットフォーム
PPP/PFI推進首長会議資料
【富谷地区電線共同溝PFI事業について】

国土交通省 東北地方整備局 建政部

令和4年10月13日

国道4号 富谷地区電線共同溝PFI事業の概要

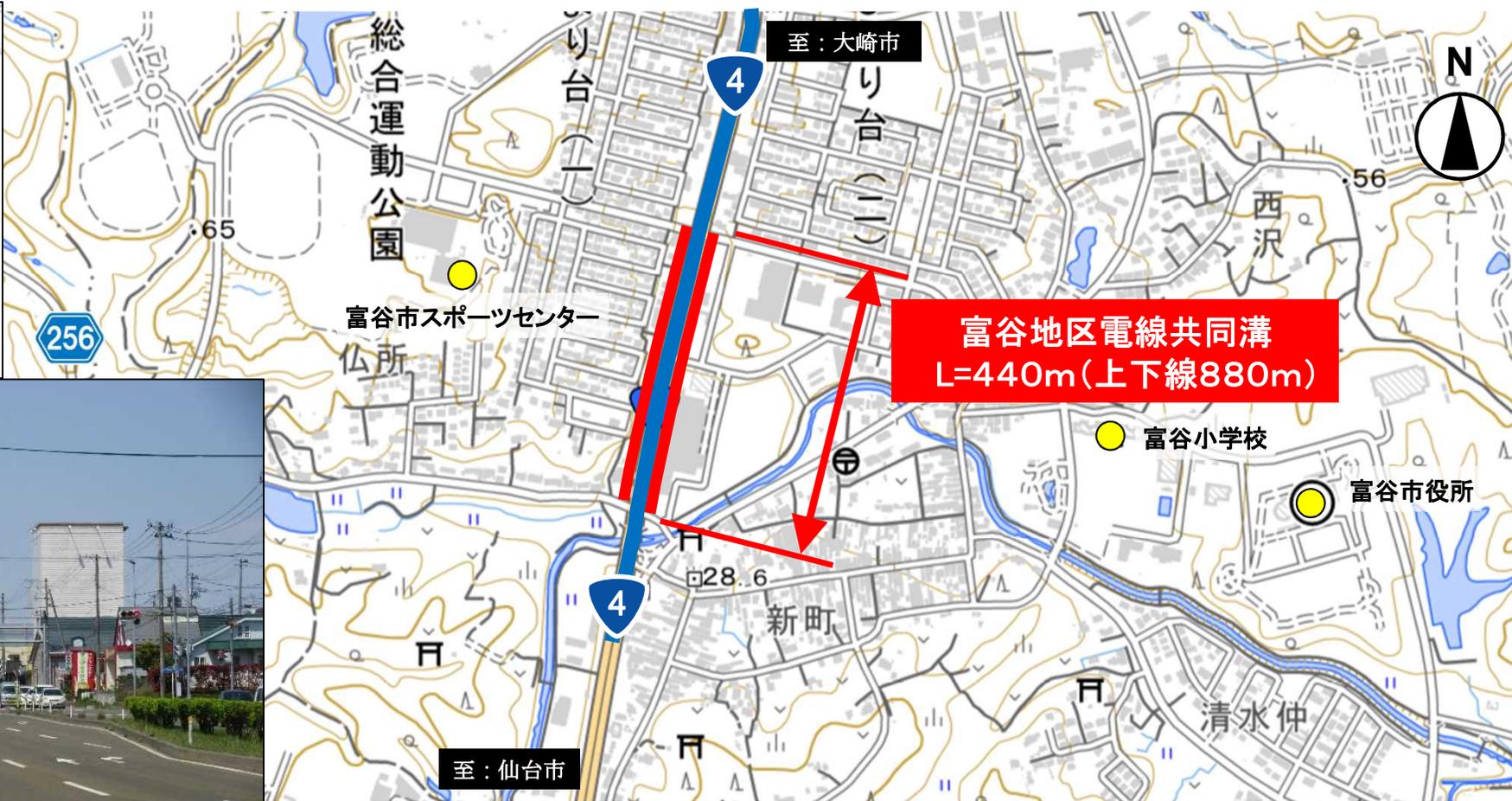
【事業概要】

- ・事業場所 : 宮城県富谷市富谷仏所地先 ~ 宮城県富谷市ひより台地先
- ・事業期間 : 令和3年3月30日 ~ 令和26年3月31日 (設計・工事:8年、維持管理:16年)
- ・契約額 : 810,349,000円
- ・事業者 : 代表企業 NTTインフラネット(株)

【工事監理業務、維持管理業務、調整マネジメント業務(設計、工事、維持管理)】

構成企業 (株)協和エクシオ 【工事業務】

構成企業 (株)オリエンタルコンサルタンツ 【設計業務】



【電線共同溝の整備イメージ】



【電線共同溝 整備前 現状】



【電線共同溝 整備後 イメージ】

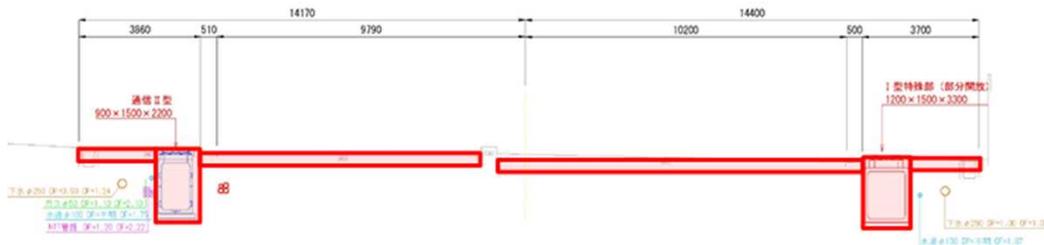
○PFI対象範囲 (標準断面図)

<調査・設計業務・工事業務>

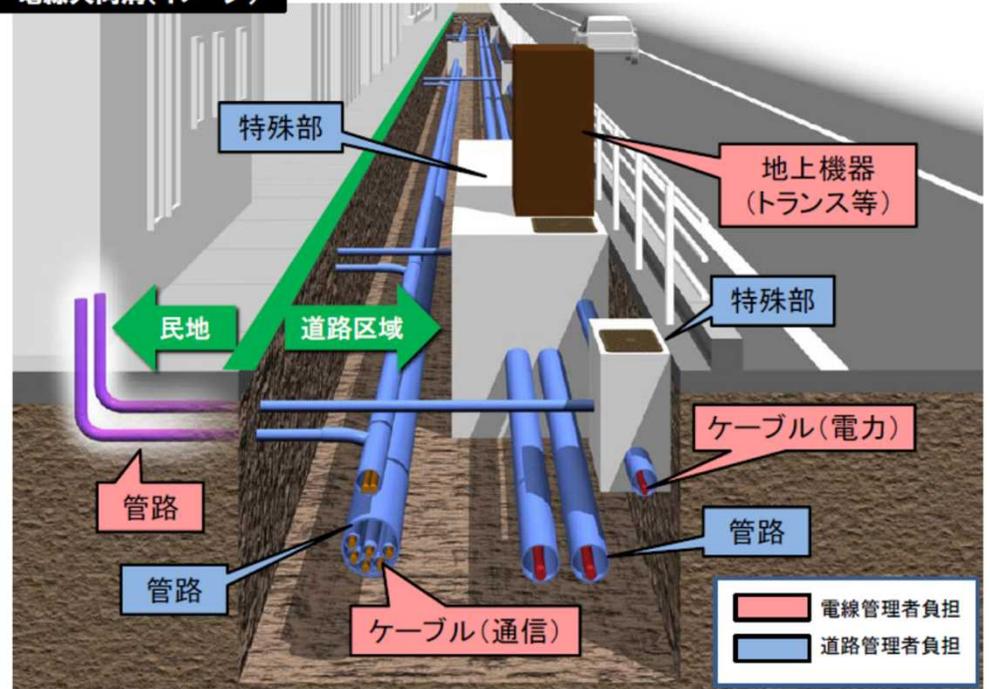
■標準断面図 (管路部)



■標準断面図 (特殊部)

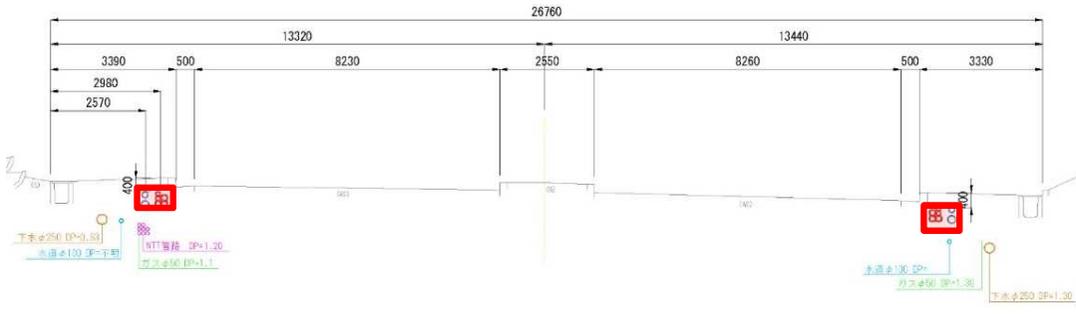


電線共同溝(イメージ)

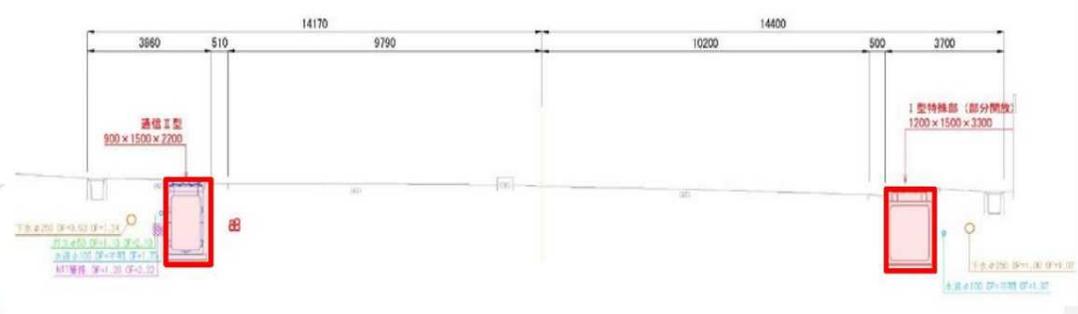


<維持管理業務>

■標準断面図 (管路部)



■標準断面図 (特殊部)



(1) 電線共同溝PFI事業導入の背景

○無電柱化事業を実施するにあたっての課題

平成28年2月自治体アンケート調査を実施

- ①コストが高い。
- ②電力会社や通信会社などの関係者が多く、事業調整が困難である。

① コストが高い

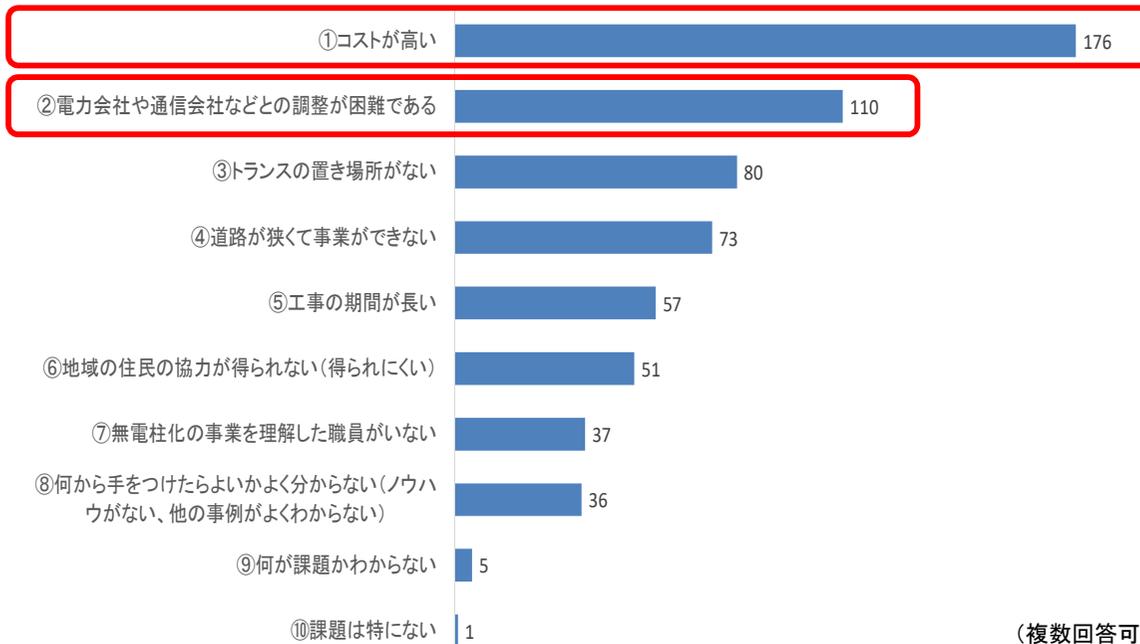
⇒ 電線地下埋設に係る規制緩和により、低コストでの整備が可能
(埋設基準、離隔距離基準)

⇒ PFI手法による一括発注効果、財政平準化効果により、更なる財政負担の軽減が可能

② 事業調整が困難

⇒ PFI手法に事業調整(調整マネジメント)に民間ノウハウを取り込むことにより、円滑で迅速な無電柱化の推進が可能

○無電柱化事業を実施するにあたっての課題



市区町村長の会において、H28. 2にアンケート調査を実施。252団体中の189団体から回答(回答率75%)

H29年度より地方整備局で、PFI方式による無電柱化事業の導入開始!

(2)電線共同溝PFI事業とは

目的

無電柱化事業については、道路の「防災性の向上、通行空間の快適性向上及び良好な景観創出」を早期に実現するため、調査設計から施工及び一定期間の維持管理まで含めた**包括的かつ長期間**にわたる契約方式を適用し、民間技術的ノウハウを最大限に引き出し、もって**効率的・効果的な事業推進を実現する**。

工期短縮

【包括①】 各種工事等の工程を最適化

- ・複数の業務と工事を一括発注する事により、管理まで見据えたフロントローディング手法の導入が可能。
- ・事業全体の様々なリスクを考慮した、最適な施工計画によって事業全体の工期短縮を実現。

【包括②】 高精度な詳細設計で、手戻りを最小化

- ・調査設計段階において精密に現況埋設物を把握し、効率的な支障物移設設計を実施。
- ・CIMの活用や地中探査等の新技術導入により、不測の事態にも効率的に対応し施工段階の工期遅延を抑制。

【包括③】 早期の合意形成を行い、円滑に事業を推進

- ・調査設計段階から施工段階、維持管理までの関係機関協議や地元調整等をワンストップ体制で行うことで、管路埋設の同時施工や早期の地元合意形成が図られ工期短縮に帰結。
- ・継続的な情報共有と監理体制保持により、切れ目なく円滑な事業を推進。

包括化

【長期間事業】 一括して事業予算を確保

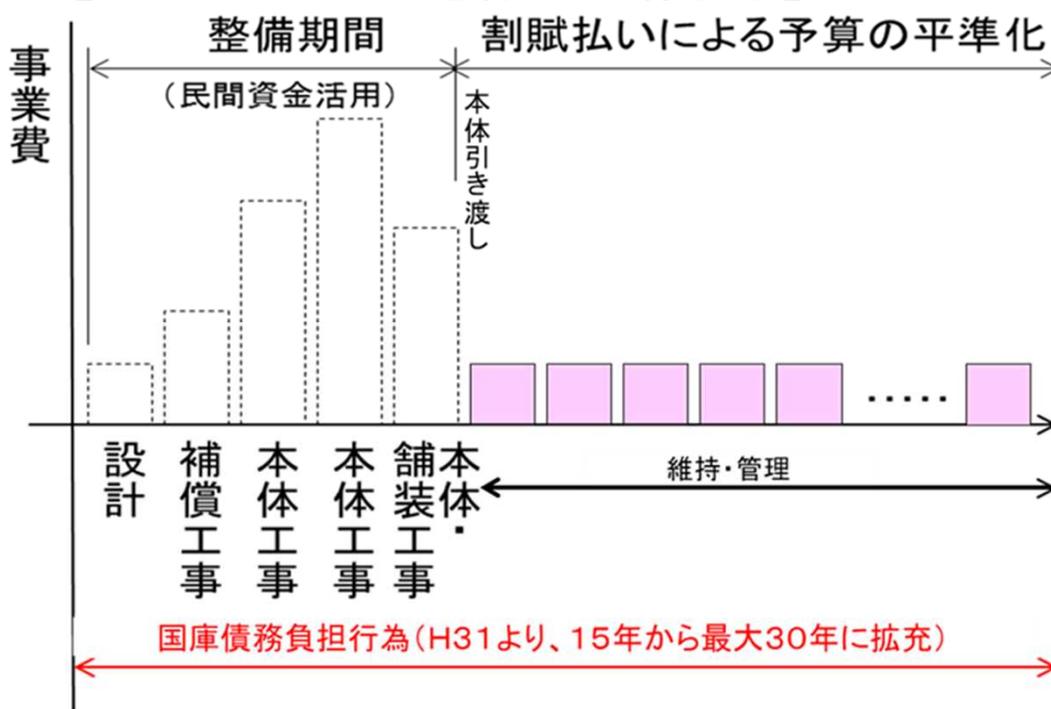
- ・上記の業務を実施するためには、調査設計業務と施工業務、維持管理業務を包括業務とする。
- ・大規模な事業かつより長期間に渡る事業である事から、PFI事業としての長期国債を活用する。
- ・電線共同溝事業費を割賦払いとして、予算を平準化する。

(3)電線共同溝PFI事業とは

○財政負担の平準化

- 電線共同溝事業の本体工事期間に予算のピークが立つため、平準化が必要
 - ⇒ PFI手法を導入した場合、施設整備費の割賦払いが可能
- 電力会社や通信会社などの関係者が多く、事業調整に時間を要している
 - ⇒ 管路整備に精通した民間の技術やノウハウの活用を促進

【PFI手法による電線共同溝事業】



○事業の内容

- ・事業対象区域において整備する電線共同溝等の設計、工事及び維持管理を実施
- ・電線共同溝等には、電線共同溝(管路、特殊部)に加え、それに伴う歩道整備を含み、通信・電力管路に敷設される通信・電力ケーブル、トランス等の地上機器は含まない

・R3年度末までに、7地方整備局で実施

<電線共同溝PFI事業の実施箇所>

地方整備局名	中国	四国	関東	近畿	中部	東北	九州
事業名	国道9号 安来 電線共同溝	国道33号 東石井・天山地区 電線共同溝	国道1号 東小磯 電線共同溝	国道8号 東沼波 電線共同溝	国道22号 一宮浅野 電線共同溝	国道4号 富谷地区 電線共同溝	国道208号 榎津 電線共同溝
期間	H30年3月26日 ～R14年3月31日 (約15年間) 設計工事:8年 維持管理:7年	H30年3月30日 ～R14年3月31日 (約15年間) 設計工事:5年 維持管理:10年	R2年3月31日 ～R17年3月31日 (約16年間) 設計工事:8年 維持管理:8年	R2年3月27日 ～R25年3月31日 (約24年間) 設計工事:8年 維持管理:16年	R2年3月30日 ～R31年3月31日 (約30年間) 設計工事:10年 維持管理:20年	R3年3月30日 ～R26年3月31日 (約24年間) 設計工事:8年 維持管理:16年	R3年3月31日 ～R32年3月31日 (約30年間) 設計工事:10年 維持管理:20年
事業箇所	一般国道9号 島根県安来市安来町～飯島町地内 延長約1.0km	一般国道33号 愛媛県松山市東石井2丁目～小坂5丁目 延長約3.1km	一般国道1号 神奈川県中郡大磯町東小磯～大磯町西小磯 延長約1.0km	一般国道8号 滋賀県彦根市外町～彦根市東沼波町 延長約2.9km	一般国道22号 愛知県一宮市島崎～一宮市緑 延長約3.5km	一般国道4号 宮城県富谷市富谷仏所～ひより台 延長約0.9km	一般国道208号 福岡県大川市大字津～大字榎津 延長約1.6km